

平成30年度 さいたまま市立与野西北小学校 学校経営方針

1 学校経営方針

(1) 経営方針

「信なくば立たず(無信不立)」

一人ひとりの子どもに寄り添う教育を真摯に行い、「信頼」を確立します。

- ① すべての児童が生き生きと学ぶ楽しい学校づくりを進める。
- ② 研究と修養に努め、児童にとって魅力ある質の高い授業に取り組む。
- ③ 児童の人権・生命を尊重するとともに、個人情報の適切な管理に配慮し、健康で安全な学校づくりを推進する。
- ④ 各分掌の協力体制の構築と情報の共有に努め、組織的に活動する学校づくりを推進する。
- ⑤ 法令を遵守するとともに、教職員としての使命と責任、児童や保護者・地域から寄せられる期待を強く自覚して職務に当たる。
- ⑥ 各種団体・ボランティアとの連携を強めるとともに、地域や自治会等の諸活動との協力を深め、教育活動の充実と向上に生かす。

(2) 平成30年度の重点課題

①一致団結した、組織づくり、学校づくり

教職員が一人ひとりが考え、知恵を出し合い、協力し、一致団結した組織として強い学校づくりに努めます。

②新教育課程移行に向けて

新教育課程にスムーズに移行し、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質や能力を育む指導を目指します。

③登校しぶりや不登校の児童への適切な対応

登校しぶりや不登校の児童に対して、教育相談の充実、関係機関との密なる連携を柱に適切な支援を図る。

2 学校教育目標

- | | |
|------------------------------------|-------|
| ◇ みんなと協力する子 (人権・情操) | 《徳 育》 |
| ◇ 自分の力で考える子 (学力の向上、自主・実践・根気) | 《知 育》 |
| ◇ 心身ともに健康な子 (体力の向上、健康・安全) | 《体 育》 |
| ◇ 人との関わりを大切にする子
(コミュニケーション力の向上) | 《響 育》 |

3 目指す学校像

与野西北小の伝統を受け継ぎ、信頼を土台に子ども一人ひとりが輝ける学校

- 児童が学んでよかったと思える学校
(学んだことが身についたと実感できる)
- 保護者が通わせてよかったと思える学校
(子どもたちが安全で安心して学んでいることが実感できる)
- 地域の人が在ってよかったと思える学校
(伝統や誇りが感じられる)
- 教職員が勤めてよかったと思える学校
(やりがいや働きがいを感じられる、個々の力が生かせる)

4 学校教育目標（目指す児童像）と具体目標

(1) 具体目標

みんなと協力する子《徳 育》

- やさしさとおもいやりのある親切な子ども
- 友だちとなかよく学校生活ができる子ども
- 正しい言葉づかいや気持ちのよいあいさつができる子ども
- 命や自然を愛する子ども

自分の力で考える子《知 育》

- 自ら考えて正しい判断ができ、行動にうつせる子ども
- 意欲をもって学習に取り組み、確かな学力が身につけている子ども
- 最後まで根気強く物事をやり遂げられる子ども

心身ともに健康な子《体 育》

- 心身ともに健康で明るく元気な子ども
- 健康や安全に気をつけて生活できる子ども
- 生き生きと輝いて学校生活ができる子ども

人との関わりを大切にする子《響 育》

- 場に応じた言葉のスキルを活用する子ども
- 言葉を覚え、言葉を大切にする子ども
- 言葉と心の響き合いを大切にする子ども

(2) 児童向けのスローガン

- にここに しっかり 美しく
- 【四つのいっぱい運動】
- ① 「友だちとなかよく」笑顔いっぱい
 - ② 「勉強に」力いっぱい
 - ③ 「健康に運動に」元気いっぱい
 - ④ 「学校をきれいに」汗いっぱい

5 学校経営の重点

(1) 豊かな心の育成 (Growth・Global)

- ◎お互いを認め合い、高め合える温かな人間関係づくり
- ◎基本的な生活習慣の定着、規範意識の徹底
- ◎あいさつからのコミュニケーション
- ◎「特別の教科 道徳」の実施と道徳教育の充実、児童の「道徳性」の育成
- ◎子どもとともに取り組む美化活動・清掃活動の推進
- 本との触れあい等読書を通じた学校図書館教育の充実
- 特別支援学級との交流等を通じた連携
- 人・自然・地域とのふれあい等体験を通じた学習の充実
- 校内掲示の工夫等、校内環境の整備

(2) 確かな学力の充実 (Grit・Global)

- ◎「よい授業」の4つの因子（授業マネジメント・基礎アップ・授業スキル・児童生徒の活動）を意識した授業改善
- ◎指導法の工夫、改善や学びの機会の確保による学力の向上
- グローバルスタディ科の指導の充実（五つの領域と習熟の学習、探究の学習）
- 小中一貫教育の充実

(3) 健康・体力向上と安全な学校づくり (Growth)

- ◎食物アレルギーの対応等、危機管理に対する教職員の意識の向上と危機管理対応への取組の徹底
- ◎体育の授業や体育的行事等を中心とした児童の体力向上に向けた取組の充実
- ◎保健指導や給食指導、食育、安全指導等を通じ、心と体の健康を目指す取組の充実
- 定期的な安全点検の確実な実施や安全な教育環境の整備

(4) 積極的な生徒指導の充実

- ◎児童理解に立ち、児童一人ひとりが存在感のある学年・学級経営の充実
- ◎共通理解、共通行動の徹底を図り、機動力があり組織的な校内指導体制の充実
- ◎児童や保護者を支援し、関係機関等との連携を図った教育相談体制の充実

(5) 開かれた学校の推進

- ◎学校と保護者、地域との強い絆で結ばれた学校づくり
 - ・教育活動の積極的な公開
 - ・学校や児童の地域行事への積極的な参加
 - ・学校だよりや学校安心メール等による情報の提供
 - ・学校安全ネットワークやスクール・サポート・ネットワーク等の充実
- ◎教育関係機関や中学校、幼稚園、保育園との連携

(6) 教職員（学校で働く者）としての意識の向上

- ◇子どもたちの前に立つという自覚
 - 「学校では、全ての大人が子どもたちの先生」
 - 「子どもは教師の背を見て育つ」
- ◇教育に携わる「プロ」としての自覚と使命
- ◇公務員・教育公務員としての自覚
 - ・サービスの厳正
 - ・接遇